



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月26日

上場会社名 杏林製薬株式会社

(コード番号：4560 東証第一部)

(URL <http://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長執行役員 荻原 郁夫

責任者役職・氏名 執行役員経理部長 伊藤 洋 TEL：(03) 3293-3420

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 1. 棚卸資産の实地棚卸の省略 : 帳簿棚卸によって算定しています。
 2. 法人税等の計上基準 : 一部簡便的な方法を採用しています。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) 2社 (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	55,836	11.0	7,129	60.1	7,689	54.3	4,670	34.4
17年3月期第3四半期	50,314	3.0	4,451	—	4,981	—	3,475	—
(参考)17年3月期	66,296		5,866		6,430		2,013	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	62 88	—
17年3月期第3四半期	46 76	—
(参考)17年3月期	26 48	—

- (注) 1. 売上高、営業利益率等におけるパーセント表示は、対前年第3四半期増減率であります。ただし、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益は平成17年3月期第1四半期から開示を始めたため、平成17年3月期第3四半期の対前年第3四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

国内医薬品業界においては、相次いで実施される薬剤費抑制策の進展により市場への影響が見られた他、新薬開発競争によって研究開発費は高騰など、市場環境は日に日に厳しさを増し、国内製薬企業同士のM&Aをはじめ業界の再編も進展している状況です。

このような中、当社は平成17年度の経営方針として「新たな成長基盤の創出；目指す企業像への転換と結集」を掲げ、重点項目である①グローバル創薬システムの確立、②医薬事業においてゆるぎない競争力育成、③新事業領域への参入とその基盤となる事業の獲得、④ブランド・人事制度改革の遂行に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期の業績（連結ベース）は

売上高 558億36百万円（前年同期比11.0%増）

経常利益 76億89百万円（前年同期比54.3%増）

当期純利益 46億70百万円（前年同期比34.4%増）と順調に推移いたしました。

販売の状況につきましては、国内における医療用医薬品では呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科に営業資源を重点化するフランチャイズカスタマー（FC）戦略を推進し競争力育成に努めました結果、432億44百万円（前年同期比8.5%増）の売上を計上いたしました。主要製品では、呼吸器疾患系用剤であるロイコトリエン受容体拮抗剤・気管支喘息治療剤「キプレス」、気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダイン」が堅調に推移すると共に広範囲経口抗菌薬「ガチフロ」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」は前年を上回る実績で推移いたしました。一方、脳血管障害改善剤「ケタス」、活性型ビタミンD3製剤「ロカルトロール」は前年同期比マイナスの実績となりました。

新規事業領域では、平成17年5月に子会社化しました東洋ファルマー株式会社（連結対象期間：5ヶ月間）のジェネリック医薬品（後発医薬品）の売上は19億3百万円となりました。

海外新薬医療用医薬品では、広範囲抗菌点眼剤「ザイマー（導出先；米国アラガン社）」は堅調に推移しましたが、広範囲合成抗菌剤「テクイン（導出先；米国ブリistol・マイヤーズ スクイブ社）」の現地売上及び原末輸出が前年を下回った結果、売上は61億36百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

一般用医薬品及びその他では、主用品である哺乳ビン・乳首消毒剤「ミルトン」が前年比マイナスとなりましたが、東洋ファルマー株式会社（連結対象期間：5ヶ月間）の一般用医薬品等、米国ActivX社の売上が貢献し33億49百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

販売促進・広告の企画制作関連事業は、売上高8億92百万円（前年同期比9.4%減）の実績となりました。

化粧品等の開発及び販売では、平成17年6月に全株式を取得し連結対象子会社としたドクタープログラム株式会社（連結対象期間：4ヶ月）の売上高が3億9百万円となりました。

なお、本年度より東洋ファルマー株式会社及びドクタープログラム株式会社を連結対象子会社といたしましたが、今後は、新規事業領域での基盤構築を進め、ハイリスク・ハイリターンかつ長期スパンである創薬事業を支える医薬事業に次ぐ事業として早期に収益の拡大に努めて参ります。

研究開発の状況につきましては、本年度は杏林創薬研究所、キョーリンスコットランド研究所、米国ActivX社による日・米・欧3極でのグローバル創薬システムの確立を目指しております。当第3四半期の研究開発費は、承認申請品目が前年の2品に対し1品になったことから大幅に減少し、79億61百万円（前年同期比20.0%減）を計上しました。

利益面では、売上高が国内医療用医薬品の売上増及び東洋ファルマー株式会社、ドクタープログラム株式会社の連結子会社化により前年同期比5.5億2.2百万円増となりましたが、原価率は0.3ポイント上昇し、販売費及び一般管理費（研究開発費除く）におきましては21.1億2.7百万円（前年同期比14.7%増）と2.7億5百万円増加した結果、経常利益は7.6億8.9百万円（前年同期比5.4.3%増）と前年同期比2.7億7百万円増となりました。また、当第3四半期純利益は4.6億7.0百万円（前年同期比3.4.4%増）、前年同期比1.1億9.4百万円増となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	119,675	94,029	78.6	1,266.26
17年3月期第3四半期	121,634	91,945	75.6	1,237.40
(参考)17年3月期	109,234	90,544	82.9	1,218.22

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	5,024	△ 5,276	△ 1,507	9,658
17年3月期第3四半期	2,511	△ 8,518	△ 1,490	34,242
(参考)17年3月期	△ 7,346	△ 21,521	△ 1,516	11,361

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

(財政状態)

株主資本は、前連結会計年度末と比較して3.4億8.5百万円の増加となりましたが、総資産はそれを大きく上回り10.4億4.0百万円増加したため、株主資本比率は78.6%となり前連結会計年度末に比べ4.3%減少いたしました。

資産の増加の主な理由は東洋ファルマー株式会社とドクタープログラム株式会社を新たに連結子会社化したこと、受取手形・売掛金の増加及び棚卸資産の増加によるものであります。

また、平成17年11月29日付けで自己株式12,078,096株（20.7億5.5百万円）を消却しております。

(キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5.0億2.4百万円の収入であり、この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益7.7億1.0百万円、減価償却費2.6億2.9百万円、仕入債務の増加8億3.2百万円による増加、売上債権の増加2.6億6.8百万円、棚卸資産の増加3.1億1.0百万円による減少です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5.2億7.6百万円の支出で、これは主に子会社株式の取得3.7億6.0百万円、有形固定資産の取得9億2.0百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億7百万円の支出で、これは主に配当金の支払13億65百万円によるものです。

この結果、当第3四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して17億3百万円減少し、96億58百万円となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
18年3月期第3四半期	百万円 51,699	百万円 7,040	百万円 7,206	百万円 4,301

	総資産	株主資本
18年3月期第3四半期	百万円 110,515	百万円 91,954

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 72,200	百万円 7,200	百万円 3,700

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 49円83銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期は、売上面で国内医療用医薬品が堅調に推移したことから利益面が通期予想を上回る進捗で進捗しました。しかしながら、平成18年4月に実施される薬価改定など第4四半期の売上に影響を及ぼす市場の要因が不透明なことから平成18年3月期中間決算時に発表しました通期の業績予想につきましては現段階で変更はございません。

なお、今後の業績推移の状況により業績予想の修正が必要になった際には速やかに情報開示いたします。

注) 本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(参考2) 平成18年3月期の個別業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期末	
通 期	百万円 65,500	百万円 6,700	百万円 3,400	円 銭 10 00	円 銭 20 00

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期末 (平成17年12月31日現在)		平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)		増 減 金額	前年同四半期末 (平成16年12月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
I 流動資産							
現金及び預金	10,626		8,760		1,865	23,120	
受取手形及び売掛金	30,091		24,655		5,436	24,935	
有価証券	111		3,010		△ 2,899	11,734	
棚卸資産	14,757		10,152		4,604	9,731	
繰延税金資産	1,278		2,171		△ 893	1,676	
その他	1,896		3,079		△ 1,183	3,711	
貸倒引当金	△ 29		△ 48		18	△ 43	
流動資産合計	58,732	49.1	51,782	47.4	6,949	74,868	61.6
II 固定資産							
有形固定資産							
建物及び構築物	9,352		7,200		2,152	8,239	
その他	9,774		9,796		△ 22	7,515	
有形固定資産合計	19,126	16.0	16,997	15.6	2,129	15,755	12.9
無形固定資産							
連結調整勘定	1,033		—		1,033	—	
商標権	2,220		2,839		△ 618	3,046	
その他	2,766		2,732		33	1,430	
無形固定資産合計	6,020	5.0	5,571	5.1	448	4,476	3.7
投資その他の資産							
投資有価証券	30,095		28,621		1,473	15,758	
繰延税金資産	4,044		4,469		△ 425	6,583	
その他	2,131		1,810		320	4,213	
貸倒引当金	△ 474		△ 18		△ 455	△ 22	
投資その他の資産合計	35,796	29.9	34,883	31.9	912	26,534	21.8
固定資産合計	60,942	50.9	57,452	52.6	3,490	46,766	38.4
資産合計	119,675	100.0	109,234	100.0	10,440	121,634	100.0
(負債の部)							
I 流動負債							
支払手形及び買掛金	8,469		5,827		2,642	6,399	
短期借入金	749		—		749	—	
未払法人税等	1,474		48		1,426	1,669	
賞与引当金	1,197		2,036		△ 839	1,058	
返品調整引当金	98		41		57	32	
その他	5,505		3,267		2,238	5,125	
流動負債合計	17,495	14.6	11,220	10.3	6,274	14,285	11.7
II 固定負債							
社債	270		—		270	—	
長期借入金	948		—		948	—	
退職給付引当金	4,888		4,389		498	14,975	
役員退職慰労引当金	464		374		89	364	
その他	959		2,706		△ 1,746	63	
固定負債合計	7,530	6.3	7,470	6.8	60	15,403	12.7
負債合計	25,025	20.9	18,690	17.1	6,335	29,688	24.4
(少数株主持分)							
少数株主持分	619	0.5	—	—	619	—	—
(資本の部)							
I 資本金	4,317	3.6	4,317	3.9	—	4,317	3.5
II 資本剰余金	949	0.8	949	0.9	—	949	0.8
III 利益剰余金	87,702	73.3	105,294	96.4	△ 17,592	106,757	87.8
IV その他有価証券評価差額金	1,050	0.9	713	0.7	337	615	0.5
V 為替換算調整勘定	22	0.0	△ 6	△ 0.0	28	4	0.0
VI 自己株式	△ 11	△ 0.0	△ 20,724	△ 19.0	20,712	△ 20,698	△ 17.0
資本合計	94,029	78.6	90,544	82.9	3,485	91,945	75.6
負債、少数株主持分及び資本合計	119,675	100.0	109,234	100.0	10,440	121,634	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	当四半期 自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日		前年同四半期 自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		増 減 金額	平成17年3月期 自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
I 売上高	55,836	100.0	50,314	100.0	5,522	66,296	100.0
II 売上原価	19,617	35.1	17,489	34.8	2,128	22,682	34.2
売上総利益	36,218	64.9	32,824	65.2	3,393	43,614	65.8
III 販売費及び一般管理費	29,089	52.1	28,372	56.4	716	37,747	57.0
営業利益	7,129	12.8	4,451	8.8	2,677	5,866	8.8
IV 営業外収益	703	1.3	625	1.2	77	818	1.3
V 営業外費用	143	0.3	95	0.1	47	254	0.4
経常利益	7,689	13.8	4,981	9.9	2,707	6,430	9.7
VI 特別利益	98	0.1	1,847	3.6	△ 1,749	1,847	2.8
VII 特別損失	77	0.1	619	1.2	△ 542	4,266	6.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,710	13.8	6,210	12.3	1,500	4,012	6.1
法人税等	2,996	5.3	2,734	5.4	262	1,998	3.0
少数株主損益	43	0.1	—	—	43	—	—
四半期(当期)純利益	4,670	8.4	3,475	6.9	1,194	2,013	3.1

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,710	6,210	4,012
減価償却費	2,629	2,691	3,894
連結調整勘定償却額	78	—	—
売上債権の増加額(△)・減少額	△ 2,668	△ 2,374	△ 1,980
棚卸資産の増加額(△)・減少額	△ 3,110	△ 322	△ 744
仕入債務の増加額・減少額(△)	832	780	208
その他	△ 1,335	△ 1,347	△ 10,026
小 計	4,136	5,636	△ 4,637
法人税等の支払額	△ 95	△ 2,258	△ 1,590
法人税等の還付額	891	—	—
その他	92	△ 867	△ 1,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,024	2,511	△ 7,346
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の売却(償還)による収入	399	1,600	1,701
有形固定資産の取得による支出	△ 920	△ 3,086	△ 5,767
投資有価証券の取得による支出	△ 3,242	△ 6,922	△ 23,352
投資有価証券の売却(償還)による収入	2,730	1,854	5,754
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入・支出(△)	△ 3,170	—	134
子会社株式の取得による収入・支出(△)	△ 589	—	—
その他	△ 483	△ 1,963	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,276	△ 8,518	△ 21,521
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得・売却による支出(△)・収入	△ 43	△ 78	△ 104
配当金の支払額	△ 1,365	△ 1,412	△ 1,412
その他	△ 97	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,507	△ 1,490	△ 1,516
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	55	△ 1	4
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)	△ 1,703	△ 7,499	△ 30,380
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,361	41,741	41,741
VII 現金及び現金同等物の期末残高	9,658	34,242	11,361